

対象国廃棄物分野における開発ニーズ(課題)

- ・増え続ける食品系廃棄物による適正処理及び最終処分場の容量の逼迫状況の改善。
- ・廃棄物の減容化のための適正処理技術の遅れ。

提案製品・技術

- ・食品残渣混じりの一般廃棄物から塩化ビニルの適正除去を行い、バイオチャーを製造する技術。
- ・食品廃棄物をの飼料化する技術。

本事業の内容

- ・ 契約期間: 2022年10月～2023年12月(予定)
- ・ 対象国・地域: フィリピン国マンドラウエ市
- ・ カウンターパート機関: マンドラウエ市廃棄物管理部(MCENRO)
- ・ 案件概要: 食品廃棄物を活用したバイオチャー(燃料、土壌改良剤)及び飼料製造に関する案件化調査。事業を通じ、食品廃棄物などの厨芥ごみから、バイオチャーを製造し、廃棄物燃料及び土壌改良剤として活用する。また、高品質な食品廃棄物はから飼料製造を行う。このビジネス展開により、現地で活用されておらず、埋め立てられていた、廃棄物の資源化を行い、廃棄物の減容化、及びリサイクルルートの構築を目指す。



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・マンドラウエ市内に食品系廃棄物処理を行う中間処理施設を建設し、バイオチャー及び飼料の製造をにより行い、廃棄物減容化を促進する。
 - ・現地への技術移転と人材育成を通じた廃棄物処理技術の発展に貢献する。
- マンドラウエ市から発生する食品系廃棄物のうちおよそ50%がリサイクル製品として活用が可能となることにより、化石燃料使用削減、飼料化が促進される。埋立から脱却とリサイクルへの移行により民間企業のSDGsの取り組みを促進する。

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・有機性廃棄物の減容化と化石燃料削減、飼料製造に関する知見の向上
- これらにより、二酸化炭素の削減が可能となる。また、これまで活用されていなかった廃棄物から、飼料の製造が可能となる。
- ・廃棄物の減容化を行うことで、最終処分場の負荷軽減に貢献する。
 - ・市場や家庭から発生する廃棄物の収集から処理までの一貫したシステムの構築と普及指導活動により、廃棄物処理技術の向上、および行政や住民への3RIに対する意識の向上を図る。
 - ・バイオチャーを化石燃料の代替燃料として使用することにより、二酸化炭素の削減に寄与する。